≪イベント情報≫

講演会「敦煌研究院の壁画保護研究の現状」

莫高窟第 57 窟

中国敦煌莫高窟（とんこうばっこうくつ）や中国重点文物石窟の保護研究管理のために設立された国立機関「敦煌研究院」保護研究所の館員を講師にむかえ、古代壁画の保護研究の現状と最新技術についての講演会を行います。

世界遺産であり、中国の最も代表的な石窟である敦煌莫高窟は、経年変化や自然災害、観光客の増加等により劣化が進んでいます。このような問題から、どのように保護していくのかは常に重要な課題となっており、敦煌研究院では保護研究が進められています。

講演会では、莫高窟をはじめとする中国の古代壁画に対する先進的な科学技術を用いた保護や管理、修復等の現状について、画像を用いてご紹介いたします。

また講演につづいて、講師と参加者による交流茶会を開きます。現在、保護研究に携わっている中国の専門家から直接話を聞ける貴重な機会です。ご参加をお待ちしております。

ご参加には事前登録（※下記「申込み問合せ」参照）が必要となります。

日　時：6 月 17 日（火）14：00～16:30 頃

（講演時間 約 90 分、通訳含む）

会　場：日中友好会館地下 1 階大ホール

（文京区後楽 1-5-3、JR、地下鉄「飯田橋」駅 徒歩 7 分）

参加費：お一人 500 円　（資料・茶話会代込）

※当日申し受けます。お釣りのないようにご用意ください。

壁画修復中の様子

＜講師プロフィール＞

傅 鵬(FU　PENG)

中国甘粛省敦煌市出身。1980 年生まれ。

敦煌研究院保護研究所館員 兼 国家古代壁画保護工程技術研究中心チベットセンター センター長。

2013 年～、東京藝術大学大学院客席研究員。

※6 月 10 日～7 月 2 日、日中友好会館美術館（同ビル 1F）にて「敦煌壁画作品展」を同時開催予定です。関連イベント多数。詳細はホームページをご覧ください。

【申込み・問い合わせ】

電話・ＦＡＸ・e-mail にてお名前、住所、お電話番号（携帯電話番号）をお伝えください。

公益財団法人 日中友好会館　文化事業部（電話受付時間：平日９時～５時）

電話：03－3815－5085　　FAX：03－3811－5263

ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ: bunka@jcfc.or.jp